

山梨県子ども読書支援センター 2019.9.30

本誌は、県民の皆様へ山梨県子ども読書支援センターのことをより深く知っていただくため、当センターの事業や活動内容について情報発信するものです。



第2回 子どもの読書オープンカレッジを開催しました。

令和元年7月11日（木）に、「発信するディスプレイ—使われる図書館の実践例—」と題して、前東京学芸大学附属世田谷小学校司書の吉岡裕子氏を迎え、講座を開催しました。

小中高等学校の学校司書・市町村図書館職員のほか、幼稚園教諭、保育士、読み聞かせボランティアなどで子どもの本に関わっている方など、子どもの読書に関心をもつ72名の参加がありました。



▲講義のようす



▲ワークショップで展示物を作成

使用済み封筒を材料にしたふくろうと、色画用紙を用いた葉っぱを作成しました。参加者は皆、真剣に、そして楽しみながら作成していました。

最後にお互いの作品を発表。同じ材料と作り方で、それぞれに味わいのある表情になりました。

参加者からは、「簡単に身近なもので作成できるディスプレイを学ぶことができて良かった」「実施されていた展示がすばらしく、参考になった」「時間のなかで作るという前提が、さすが現場を知っている方だと思った」などの感想が寄せられました。これからも子どもたちが楽しく読書できるように、様々な展示でご活用ください。

講師の吉岡先生は、長年、学校司書として勤務され、多忙な業務の合間を縫って、華やかな装飾というより使いやすさ、分かりやすさを重視した図書館づくりを、創意工夫を重ねて実践してきました。

今回の講座では、学校図書館という人手もお金もない現場で、いかに手間をかけずに子どもの興味を引く工夫をするかということ、豊富な実例を挙げながら講演いただきました。

後半のワークショップでは、実際に展示用品を作成。



▲ふくろうと葉っぱを作成

令和元年度「児童青少年サービス実施状況調査」を公開しました。

山梨県内の児童青少年サービスの充実を目指し、毎年、県内公共図書館を対象にした「児童青少年サービス実施状況調査」を公開しています。今年度の調査（平成30年度実績）は当館のホームページに掲載されていますので、ぜひご覧ください。

■URL: https://www.lib.pref.yamanashi.jp/kodomo_shien/shien_info2.html

令和元年度 中学生職場体験・高校生インターンシップ報告



▲図書館の仕事について学ぶ

令和元年度の中学生職場体験・高校生インターンシップの受入を夏休み期間に行いました。1日に5～6名ずつの受入で、合計28名が県立図書館の仕事を体験しました。図書館での体験希望理由としては、「本が好きだから」「図書館を利用したことがあるから」という生徒が多く、「将来司書になりたいと思っているから」という生徒もいました。

図書館の概要を聞いた後、館内を見学し、体験学習として利用カードを作成したり、本の配架・配列規整を行ったり、本にブックコートをかける体験などをしました。「裏側の仕事を知ることができた」「思っていたより体力を使った」など、生徒の感想が寄せられました。

令和元年度 子ども読書支援センター 前期活動報告

子ども読書支援センターでは、下記の活動を行っています。令和元年4～9月の実績報告です。

★見学対応

保育園児等への読み聞かせ	1団体	21名
小学生への読み聞かせおよび施設見学	1団体	22名
中学生の施設見学	2団体	15名
その他団体の施設見学	2団体	84名



▲おはなし会の実演

★職場体験、インターンシップ

中学校職場体験	11校	17名
高等学校インターンシップ	7校	11名



★講師派遣 絵本の読み聞かせ研修会講師 6回（5団体97名参加）